

令和 7 年度
第 1 回浜松市歯科保健推進会議



健康福祉部 健康増進課

令和7年度 第1回浜松市歯科保健推進会議

日時 令和7年7月31日（木）午後1時30分～

場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

次 第

I 開会

II 議題

- 1 令和6年度 歯科口腔保健事業実績
- 2 各事業別詳細報告
- 3 令和6年度 口腔保健支援センター関連事業実績報告
- 4 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
- 5 歯科保健の推進に関する委員のご意見
- 6 令和7年度 歯科口腔保健事業計画
- 7 浜松市歯科口腔保健推進条例改正について

III その他

IV 閉会

浜松市歯科保健推進会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属
相澤 秀夫	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長
新井 恵美	特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 理事
石田 真規子	浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長
磯部 智明	一般社団法人 浜松市医師会 副会長
今泉 菜穂子	全国健康保険協会 静岡支部 保健グループ長
柴木 利明	一般社団法人 浜松市歯科医師会 会長
鈴木 一	一般社団法人 浜松市歯科医師会 理事
高橋 久美子	浜松市浜松手をつなぐ育成会 副会長
野寄 秀明	一般社団法人 浜松市薬剤師会 副会長
吉川 和美	浜松民間保育園長会 理事

任期：令和7年4月1日から、令和10年3月31日まで

【事務局】

平野 由利子	健康福祉部 医療担当部長（口腔保健支援センター長）
小笠原 雅美	健康福祉部 健康増進課長
田辺 雷太	健康福祉部 健康増進課長補佐
生田 望	健康福祉部 健康増進課 健康推進グループ長
高柳 弥生	健康福祉部 健康増進課 母子グループ長
伊藤 梓	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 所長
藤田 亮子	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 主幹
藤ヶ谷 文香	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 主任
川瀬 真由	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター

【関係課等】

板倉 称	健康福祉部 保健所長
西崎 公康	健康福祉部 健康医療課長
密岡 宏行	健康福祉部 保健総務課長
鈴木 孝人	健康福祉部 障害保健福祉課長
竹村 和枝	健康福祉部 高齢者福祉課 医療・介護推進担当課長
谷口 弘記	健康福祉部 介護保険課長
鈴木 勝己	健康福祉部 国保年金課長
渡邊 仁	こども家庭部 幼保運営課長
里見 陽祐	ウェルネス推進事業本部 副本部長
小松 弓美	学校教育部 健康安全課長
中村 その子	健康福祉部 中央健康づくりセンター 所長
坂本 田佳子	健康福祉部 浜名健康づくりセンター 所長
櫻井 政男	健康福祉部 天竜健康づくりセンター 所長

Ⅱ 議題

1 令和6年度 歯科口腔保健事業実績

(1) 全区実績

事業名	令和6年度		令和5年度		前年比	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数

ア 妊娠期・乳幼児期

妊婦歯科健康診査		2,383人		2,458人		△ 75人
歯科相談（全年齢）	64回	3人	74回	1人	△10回	2人
電話相談		104人		79人		25人
1歳6か月児歯科健康診査	177回	4,839人	183回	5,201人	△6回	△ 362人
2歳児歯科健康診査（教室あり）	63回	765人	99回	949人	△36回	△ 184人
2歳児歯科健康診査（健診のみ）	63回	574人	99回	644人	△36回	△ 70人
3歳児歯科健康診査	33回	4,460人	33回	4,877人	0回	△ 417人
フッ化物洗口（幼稚・保育・こども園）	100園	3,735人	106園	3,786人	△6園	△ 51人
口を育む教室（子育て支援ひろば）	63回	893人	60回	1,003人	3回	△ 110人
口を育む教室（保育園・幼稚園）※訪問	115回	3,035人	102回	2,582人		453人
（保育所・幼稚園）※媒体貸出	40園	1,978人	60園	2,998人	△20回	△ 1,020人
【新規】楽しく口を育てる教室 あっぷっぷ	9回	62人				
歯科健康教育（母子）	35回	722人	26回	320人	9回	402人
親子すこやか相談	114回	395人	112回	345人	2回	50人
歯と口の健康週間事業（総参加者数）	3会場	1,913人	3会場	1,617人	－	296人

イ 学齢期

学校歯科健康診断		57,730人		58,818人		△ 1,088人
歯科健康教育（小・中・高等学校）	17回	702人	24回	1,194人	△7回	△ 492人

ウ 成人期

歯周病検診		5,160人		4,810人		350人
成人歯科健康教育	12回	277人	4回	90人	8回	187人
市民公開講座	3回	315人	2回	157人	1回	158人

エ 高齢期

成人歯科健康教育	74回	1,446人	69回	1,325人	5回	121人
口腔機能向上普及・啓発事業	30回	551人	38回	545人	△8回	6人
歯科訪問診査		41人		36人		5人
健康長寿のための口の健康づくり訪問(啓発数)		175人		225人		△ 50人
訪問歯科相談（全年齢）	8回	8人	6回	6人	2回	2人

オ 障がい者の歯科

心身障がい者（児）歯科診療	132日	1,165人	140日	1,233人	△8日	△ 68人
障がい者施設歯科健診	56施設	1,020人	51施設	990人	5施設	30人

カ 状況に応じた歯科口腔保健医療

休日救急歯科診療	72日	989人	73日	1,015人	△1日	△ 26人
----------	-----	------	-----	--------	-----	-------

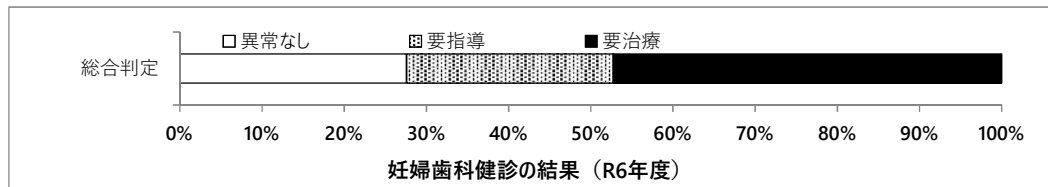
2 各事業別詳細報告

ア 妊娠期・乳幼児期

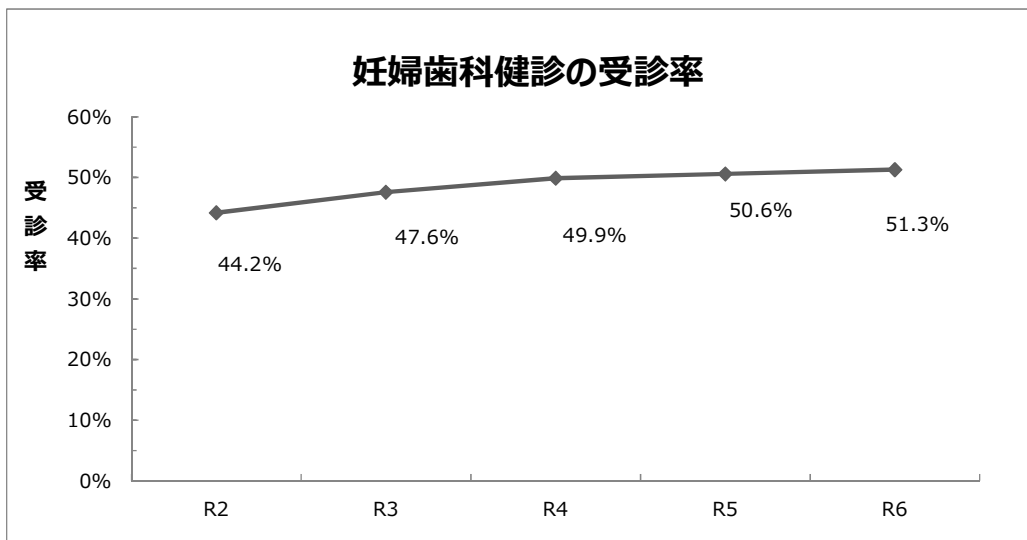
(ア) 妊婦歯科健康診査

・妊婦（主に妊娠16～31週）を対象に健康診査と歯科保健指導を実施（個別健診：委託）

		浜松市	中央区	浜名区	天竜区
対 象 者 数		4,646人	3,813人	764人	69人
受 診 者 数		2,383人	2,003人	354人	26人
受 診 率		51.3%	52.5%	46.3%	37.7%
定期的な歯科検診の受診率		48.3%	48.8%	45.8%	46.2%
歯間部清掃器具使用率		55.2%	56.2%	50.0%	50.0%
むし歯のある者の割合(有病者率)		30.7%	31.3%	27.4%	34.6%
一人平均未処置むし歯数		0.9本	0.9本	0.8本	1.7本
歯石沈着者率		68.4%	68.0%	71.5%	57.7%
歯周疾患	なし	684人	573人	104人	7人
	歯肉炎	909人	744人	157人	8人
	歯周炎	790人	686人	93人	11人
	要治療(%)	33.2%	34.2%	26.3%	42.3%
総合判定	異常なし	657人	553人	95人	9人
	要指導	600人	504人	92人	4人
	要治療	1,126人	946人	167人	13人
	要治療(%)	47.3%	47.2%	47.2%	50.0%



・要治療の者の割合は、天竜区が最も高かった。



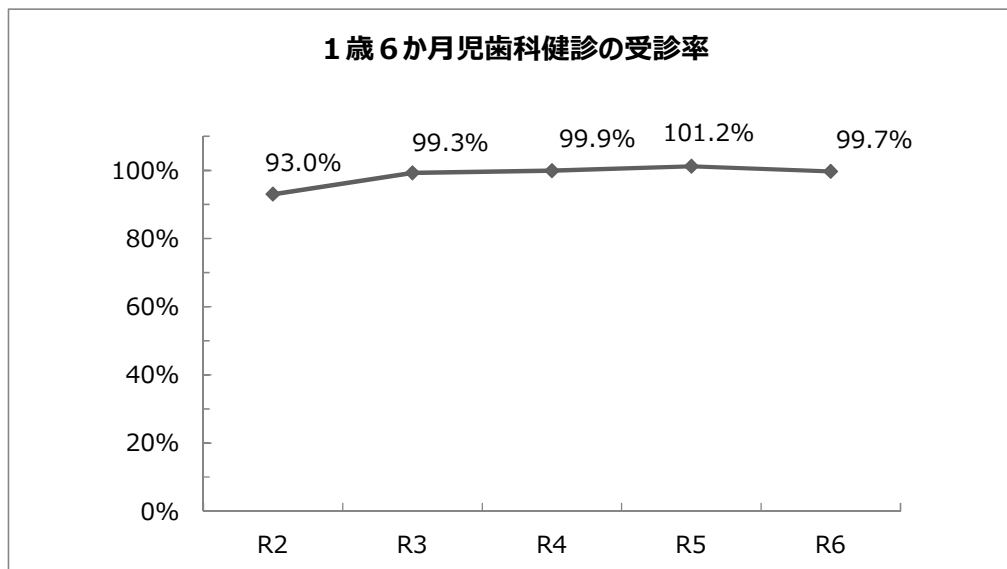
・妊婦歯科健診は微増傾向が続いている。

(イ) 1歳6か月児歯科健康診査

・1歳6か月～8か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診）

浜松市 計		中央区				浜名区		天竜区
		中	東	西	南	北	浜北	
対象者数	4,852人	1,749人	910人	566人	662人	229人	657人	79人
受診者数	4,839人	1,737人	905人	572人	659人	239人	649人	78人
受診率	99.7%	99.3%	99.5%	101.1%	99.5%	104.4%	98.8%	98.7%
むし歯のない者	4,817人	1,730人	900人	570人	658人	239人	643人	77人
むし歯のある者	22人	7人	5人	2人	1人	0人	6人	1人
むし歯のある者（有病者率）	0.5%	0.4%	0.6%	0.3%	0.2%	0.0%	0.9%	1.3%
未処置歯数の合計（C）	69本	20本	23本	8本	2本	0本	15本	1本
処置歯数の合計（O）	0本	0本	0本	0本	0本	0本	0本	0本
要観察歯数の合計（CO）	137本	49本	28本	11本	28本	8本	8本	5本
一人平均むし歯数（C＋O）	0.01本	0.01本	0.03本	0.01本	0.00本	0.00本	0.02本	0.01本
一人平均要観察歯（CO）数	0.03本	0.03本	0.03本	0.02本	0.04本	0.03本	0.01本	0.06本
軟組織の異常	623人	272人	119人	97人	83人	13人	32人	7人
不正咬合	555人	213人	84人	71人	78人	36人	63人	10人

・むし歯がある者の割合は0.5%程度である。



1歳6か月児歯科健診は高い受診率となっている。

(ウ) 2歳児歯科健康診査

・2歳0か月～11か月の児を対象に、歯科健康診査を実施（集団健診）

浜松市 計		中央区				浜名区		天竜区
		中	東	西	南	北	浜北	
受診者数	1,339人	488人	168人	158人	106人	99人	288人	32人
受診者数（教室参加）	765人	274人	93人	80人	59人	59人	185人	15人
受診者数（健診のみ）	574人	214人	75人	78人	47人	40人	103人	17人
むし歯のある者	19人	8人	4人	1人	1人	2人	2人	1人
むし歯のある者（有病者率）	1.4%	1.6%	2.4%	0.6%	0.9%	2.0%	0.7%	3.1%
一人平均要観察歯（CO）数	0.07本	0.06本	0.07本	0.07本	0.07本	0.15本	0.06本	0.09本
要観察歯がある者（CO者率）	4.3%	2.7%	4.8%	4.4%	4.7%	10.1%	4.5%	6.3%

・完全予約制で実施している。

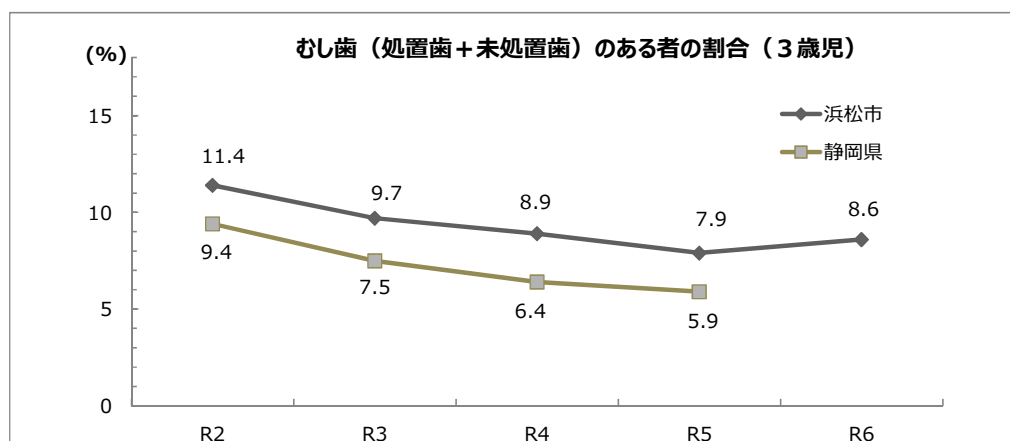
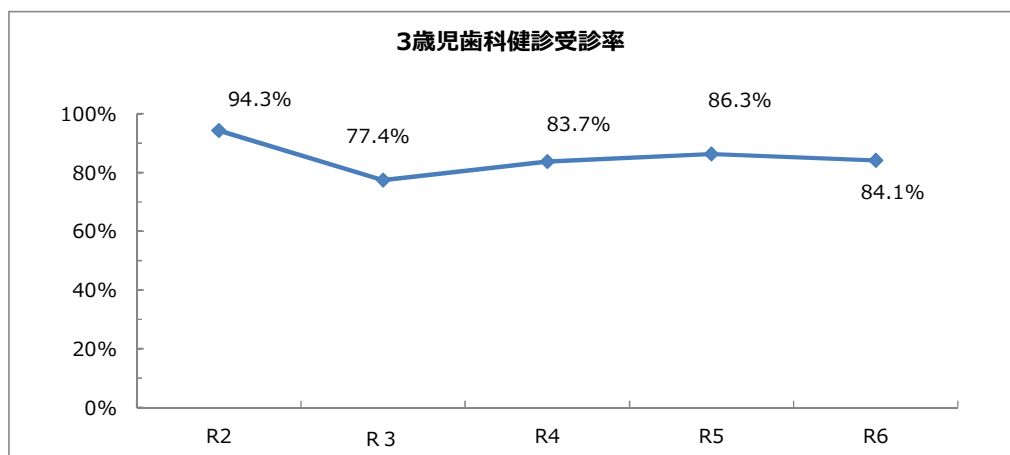
(エ) 3歳児歯科健康診査

・3歳0か月～11か月児を対象に、健康診査、相談を実施（個別健診）

浜松市 計		中央区				浜名区		天竜区
		中	東	西	南	北	浜北	
対象者数	5,306人	1,746人	957人	680人	727人	366人	743人	87人
受診者数	4,460人	1,529人	781人	515人	578人	223人	743人	91人
受診率	84.1%	87.6%	81.6%	75.7%	79.5%	60.9%	100.0%	104.6%
むし歯のない者	4,077人	1,408人	717人	474人	512人	199人	688人	79人
むし歯のある者	383人	121人	64人	41人	66人	24人	55人	12人
むし歯のある者（有病者率）	8.6%	7.9%	8.2%	8.0%	11.4%	10.8%	7.4%	13.2%
むし歯の数	1,158本	340本	164本	114本	243本	97本	162本	38本
うち（未処置歯）	(934本)	(293本)	(144本)	(96本)	(175本)	(61本)	(140本)	(25本)
（処置歯）	(224本)	(47本)	(20本)	(18本)	(68本)	(36本)	(22本)	(13本)
一人平均むし歯数	0.26本	0.22本	0.21本	0.22本	0.42本	0.43本	0.22本	0.42本
うち（未処置歯）	(0.21本)	(0.19本)	(0.18本)	(0.19本)	(0.30本)	(0.27本)	(0.19本)	(0.27本)
（処置歯）	(0.05本)	(0.03本)	(0.03本)	(0.03本)	(0.12本)	(0.16本)	(0.03本)	(0.14本)
一人平均要観察歯（CO）数	0.18本	0.18本	0.18本	0.19本	0.24本	0.22本	0.09本	0.10本
軟組織の異常	171人	67人	29人	23人	31人	7人	13人	1人
不正咬合	924人	325人	187人	112人	149人	42人	92人	17人

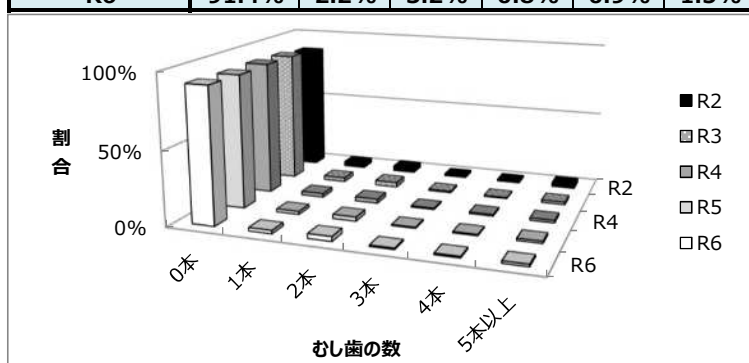
・むし歯がある者の割合は8.6%（383人）と前年の7.9%から0.7%増加した。

・令和6年1月の区再編に伴い、三方原地区の受診者数は旧中区へ計上。その他は、旧区で計上。



むし歯（処置歯+未処置歯）のある者の割合（3歳、浜松市）

	むし歯の本数					
	0本	1本	2本	3本	4本	5本以上
R2	87.8%	3.3%	3.6%	1.2%	1.1%	2.9%
R3	90.3%	2.8%	3.3%	1.0%	0.7%	1.8%
R4	91.1%	2.5%	2.8%	0.8%	1.0%	1.7%
R5	90.8%	2.1%	2.8%	0.6%	0.8%	1.4%
R6	91.4%	2.2%	3.2%	0.8%	0.9%	1.5%



(参考) 他政令市との比較

令和 5 年度

1 歳 6 か月児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	5,138 人	5,201 人	98.8%	0.7%
静岡市	4,082 人	4,206 人	97.1%	0.4%
相模原市	4,041 人	4,451 人	90.8%	0.6%
静岡県	21,742 人	21,900 人	99.3%	0.6%
全国	777,270 人	814,485 人	95.4%	0.6%

3 歳児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	4,877 人	5,651 人	86.3%	7.9%
静岡市	4,127 人	4,287 人	96.2%	4.7%
相模原市	4,501 人	4,859 人	92.6%	5.9%
静岡県	22,408 人	23,488 人	95.4%	5.9%
全国	830,682 人	875,764 人	94.9%	7.7%

令和 4 年度

1 歳 6 か月児歯科健診

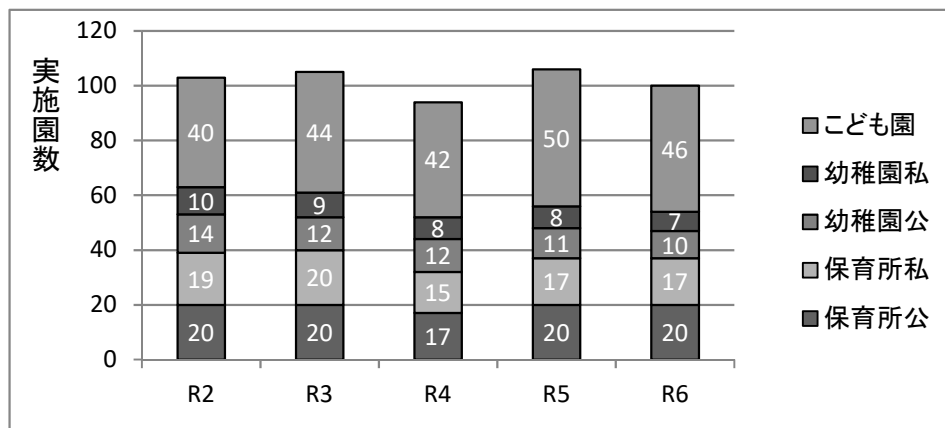
	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	5,357 人	5,365 人	99.9%	0.6%
静岡市	4,109 人	4,206 人	97.7%	0.7%
相模原市	4,201 人	4,601 人	91.5%	0.4%
静岡県	22,180 人	22,458 人	98.8%	0.6%
全国	806,552 人	852,029 人	94.7%	0.7%

3 歳児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	4,955 人	5,917 人	83.7%	8.9%
静岡市	4,341 人	4,457 人	97.4%	6.1%
相模原市	4,470 人	4,829 人	92.6%	6.7%
静岡県	23,334 人	24,578 人	94.9%	6.4%
全国	864,852 人	915,672 人	94.4%	8.6%

(オ) 令和6年度 フッ化物（フッ素）洗口実施施設数

	区分	施設の 総 数	実 施 施設数	洗口回数別 施 設 数
保育所	公立	20園	20園	週5回 19 園 週3回 1 園 週2回 0 園 週1回 0 園
	私立	37園	17園	週5回 17 園 週3回 0 園 週2回 0 園 週1回 0 園
幼稚園	公立	56園	10園	週5回 9 園 週3回 0 園 週2回 1 園 週1回 0 園
	私立	38園	7園	週5回 4 園 週3回 1 園 週2回 1 園 週1回 1 園
こども園		81園	46園	週5回 45 園 週3回 1 園 週2回 0 園 週1回 0 園
計		232園	100園	週5回 94 園 週3回 3 園 週2回 2 園 週1回 1 園



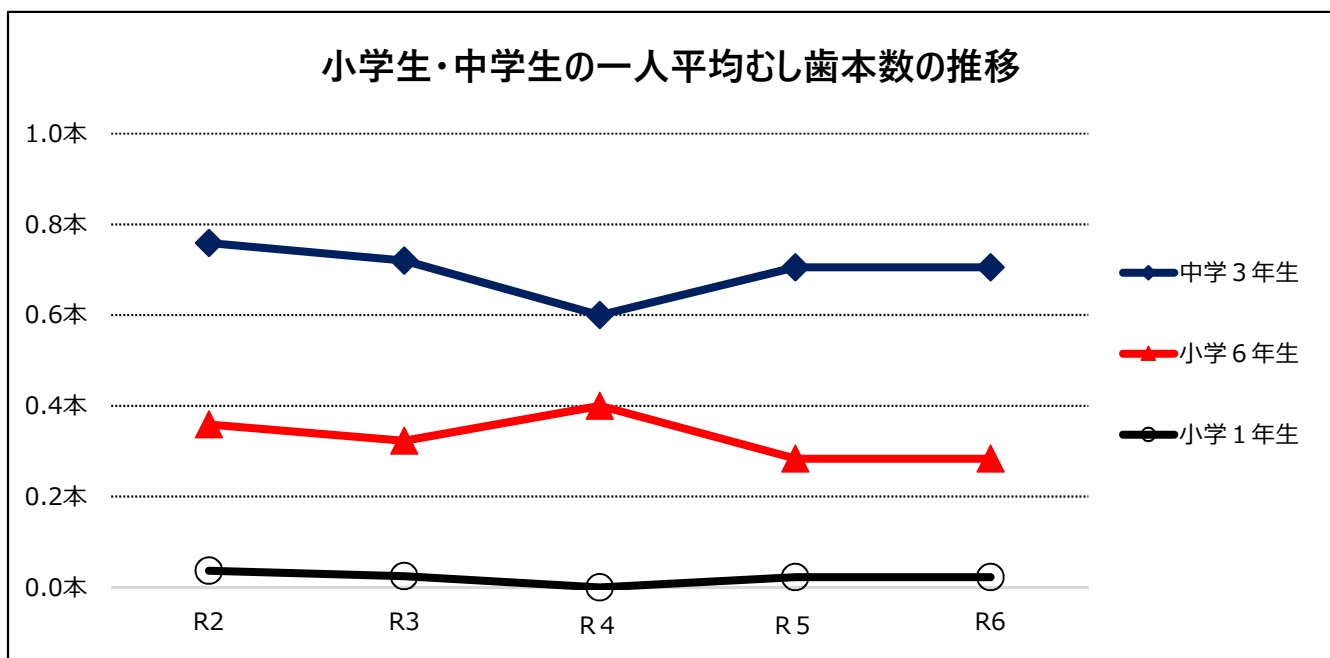
イ 学齢期

(ア) 学校歯科健康診断（健康安全課）

小学生・中学生一人平均むし歯本数

項目 学年	むし歯本数(永久歯)			
	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
小学 1 年生	0.0本	0.0本	0.0本	0.0本
小学 2 年生	0.1本	0.0本	0.1本	0.1本
小学 3 年生	0.1本	0.1本	0.1本	0.1本
小学 4 年生	0.1本	0.1本	0.2本	0.2本
小学 5 年生	0.2本	0.2本	0.3本	0.3本
小学 6 年生	0.3本	0.3本	0.4本	0.3本
中学 1 年生	0.3本	0.3本	0.4本	0.4本
中学 2 年生	0.5本	0.5本	0.5本	0.5本
中学 3 年生	0.7本	0.7本	0.6本	0.7本

・前年度と比較すると、むし歯の本数はほぼ横ばいである。



ウ 成人期

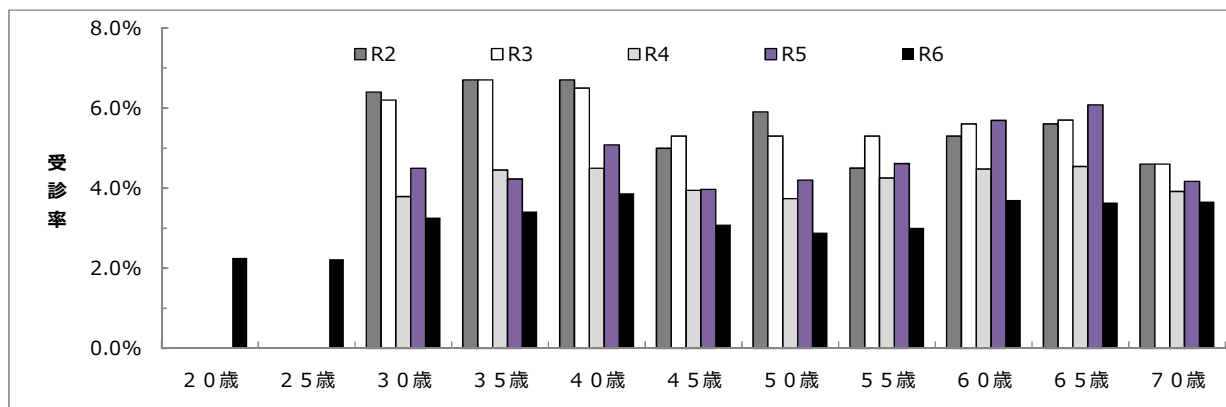
(ア) 歯周病検診（20歳以上）

・対象：20歳以上（うち、20歳から70歳の5歳刻みで受診券を送付）

		浜松市	中央区	浜名区	天竜区
受診者数		5,160人	3959人	1053人	148人
定期的に歯科受診をしている割合		42.4%	42.3%	42.2%	45.3%
総合判定	異常なし	556人	469人	80人	7人
	要指導	2,050人	1586人	419人	45人
	要治療	2,554人	1904人	554人	96人
	要治療(%)	49.5%	48.1%	52.6%	64.9%

・要治療の者の割合は49.5%と、微減した。

【受診率】



	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
R2			6.4%	6.7%	6.7%	5.0%	5.9%	4.5%	5.3%	5.6%	4.6%
R3			6.2%	6.7%	6.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.6%	5.7%	4.6%
R4			3.8%	4.5%	4.5%	3.9%	3.7%	4.3%	4.5%	4.5%	3.9%
R5			4.5%	4.2%	5.1%	4.0%	4.2%	4.6%	5.7%	6.1%	4.2%
R6	2.3%	2.2%	3.3%	3.4%	3.9%	3.1%	2.9%	3.0%	3.7%	3.6%	3.7%

(イ) 市民公開講座（浜松市歯科医師会に委託）

高齢者福祉課	R6.5.19	「おいしく食べ続けるために～知っておきたい口の役割～」 参加者：104人
	R6.10.20	「ご存知ですか？オーラルフレイル予防で健口生活」 参加者：131人
健康増進課	R6.12.8	「子供の矯正治療と大人の矯正治療の違いはなに？ ～どうして幼い時から矯正治療を始めるの？～」 参加者：80人

エ 高齢期

(ア) 口腔機能向上普及・啓発事業（高齢者福祉課）

・市内で活動するサロン等の65歳以上の高齢者の団体を対象に、歯科衛生士が口腔機能向上のための集団指導を実施

年度	実施回数	受講人数
令和6年度	15団体	551人
令和5年度	38団体	545人
令和4年度	16団体	497人

（元気はつらつ教室26回、市内シニアクラブ4回）

(イ) 歯科訪問診査

・在宅療養者に対して、歯科医師が家庭に訪問して、健診、保健指導を実施

受診者の状況

状況	実人数
介助で車イス	8人
寝たり起きたり	8人
自力で車イス	2人
室内自立	11人
自力で寝返り可	3人
自力で寝返り不可	9人
計	41人

診査結果の内訳（実人数：41人）

	延べ人数
診査結果	要訪問診療
	要通院診療
	要高次医療機関受診
	処置不要
指導事項	歯口清掃指導
	義歯の取扱指導
	食事指導
	その他
対応方針	訪問診療
	通院診療
	高次医療機関受診
	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導
	その他

オ 障がい者の歯科

(ア) 障がい者施設歯科健診

- ・生涯を通じて歯や口の機能を維持するのに効果的な「かかりつけ歯科で定期管理を受ける習慣」を普及啓発するために、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設を訪問して歯科健診を実施。

かかりつけ歯科がある者の割合

		令和6年度	令和5年度	令和4年度
受診施設数		56 施設	51 施設	48 施設
受診者数 総数		1,020 人	990 人	910 人
	男性	652 人	645 人	585 人
	女性	368 人	345 人	325 人
平均年齢		41.0 歳	46.8 歳	40 歳
「かかりつけ歯科医あり」の者の割合 (注1)		85.2%	84.0%	79.1%
「過去 1 年間に歯科受診あり」の者の割合 (注2)		72.4%	70.1%	56.2%
【参考】「過去1年間に歯科受診あり」 のうち、「定期受診あり」の割合 (注3)		62.8%	55.0%	56.1%

- ・かかりつけ歯科医院がある人の割合は 8 割、過去 1 年間に歯科受診がある人の割合は 7 割程度であった。

(注 1) ～ (注 3) 該当者数 (有効回答数)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
(注1)「かかりつけ歯科医あり」の者	869人 (1018人)	842人 (987人)	832人 (990人)
(注2)「過去 1 年間に歯科受診あり」の者	738人 (1010人)	672人 (958人)	672人 (958人)
(注3)「(注 2) のうち、定期受診あり」の者	641人 (1000人)	561人 (921人)	507人 (921人)

3 令和 6 年度 口腔保健支援センター関連事業実施報告

口腔保健支援センターとは

【目 的】関係団体や事業者と連携し、歯科保健計画に基づき、歯科保健事業を推進する。

【実施報告】

① 口腔ケア普及推進事業

- ・介護福祉サービス事業所職員を対象に、日常生活での口腔ケア技術の実習
- ・市内事業所 14 か所 75 人

② 障がい者歯科連携推進事業

- ・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修と解説、及び知識の講義
- ・実地研修 年間全 12 回 113 人

③ 研修会等

「フッ化物洗口実施における管理責任者研修会」：4/23・25

- ・参加者 フッ化物洗口実施における管理責任者 99 人
- ・内容 フッ化物洗口の安全な実施方法および薬剤の管理

「歯科健康教育研修会」：5/15・24

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員 44 人
- ・内容 はみがき指導のデモ
口の悩みの共有および遊びを体験するグループ実習

「要介護者口腔ケア実践研修会」：6/27

- ・参加者 介護保険サービス提供事業者 15 人
口腔保健医療センター
- ・内容 口腔ケアに関する知識の伝達及び実技

「障がい者施設歯科健診事業説明会」：10/23・11/1

- ・参加者 障害福祉サービス事業者 46 施設
- ・内容 かかりつけ歯科の重要性について

「口腔保健支援センター研修会」：2/6

- ・外部講師 一般社団法人 浜松市歯科医師会 母子・学校歯科専門部会
本目 恵子先生（Mai 子どもデンタル・ルーム 院長）
- ・参加者 幼児教育保育施設の職員 45 人
- ・内容 「乳幼児の口の機能と食べ方 かむことの大切さを学ぼう！」

④ 中学校での職業講話（新規）

- ・授業の一環として中学校で実施される職業紹介に、歯科専門職を紹介するため参加
- ・仕事の全体像や必要な資格、社会人として働くうえで大切にしたいことや中学生のうちに考えておくべきこと等について話をし、歯科専門職に興味を持ってもらえるように中学生たちに紹介

⑤ 災害時歯科衛生士ボランティアの継続確認（新規）

- ・令和元年度に登録された 35 名の災害時歯科衛生士ボランティアに対してボランティアの継続が可能かどうかを確認し、17 名の継続の意思を確認

⑥ 歯周病検診対象の拡大（新規）

- ・国の歯周病検診の対象が拡大したことに合わせ、対象年齢を 20 歳以上に引き下げ

⑦ 糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者への歯周病検診受診券発送のための 発券手続き（新規）

- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者※に対して、国保年金課から歯周病検診の受診券を受診勧奨通知に同封・発送するにあたり、受診券発券の手続きを行った。
- ※特定健康診査結果のリスク者・ハイリスク者・治療中断者

⑧ 楽しく口を育てる教室あっぷっぷの実施（新規）（P.15）

- ・幼児期からの望ましい口腔機能の育成についての普及・啓発、さらには定期的に歯科検診を受けることの勧奨を目的に、2 歳児とその保護者を対象とした歯科の健康教育をトライアル実施
- ・口腔保健医療センター、東部保健福祉センター、西部保健センター、南行政センター、細江健康センターの計 5 か所、年 10 回開催
- ・参加者数が増加傾向であることから、令和 7 年度も継続実施

⑨ 歯科口腔保健推進に関する啓発（P.16）

- ・歯科の受診啓発チラシおよび啓発物の配布
企業 205 社、大学・専門学校 13 校を訪問
- ・「歯と口の健康週間」において街頭 PR 活動を 6 月 4 日に実施
約 3000 人にチラシ等を配布
- ・住民の求めに応じて出張型健康教育を実施
- ・「11 月 8 日（いい歯の日）」前後において、事業所に資料啓発等を配布

⑩ 杏林堂・HALEON（株）の事業に対する協力（新規）（P.17）

- ・杏林堂、HALEON（株）が6月1日から7月31日まで行った歯科啓発事業に協力
- ・6月4日に実施した「歯と口の健康週間」街頭PR活動時に約3000人にチラシを配布
- ・歯周病検診の受診券申込数が増加したことから、令和7年度も継続実施の予定
- ・236名がアンケートに回答し、内54.4%が歯周病検診を初めて受診
- ・前年度の6、7月と比較すると、歯周病検診受診者が148名増加

⑪ （株）ミナケアとの連携した事業内容と他事業所と連携した啓発活動について口腔衛生学会にて発表（新規）（P.18-19）

- ・盛岡市で開催された第73回日本口腔衛生学会学術大会にてポスター発表

⑫ 健康長寿を目指して～口の健康づくり訪問～（高齢者の保健事業を介護予防の一体的実施）（P.20-22）

- ・後期高齢者医療広域連合の実施する高齢者健康診査の質問票から69～79歳の口の機能低下が疑われ、かつ、前年度に歯科に受診した記録がない者を対象として、歯と口の健康状態を把握するためのアンケートを実施
- ・アンケート結果からオーラルフレイルの疑いがある高齢者や希望のあった居宅等を訪問して、歯科受診の勧奨や歯科保健指導を実施

楽しく口を育てる教室

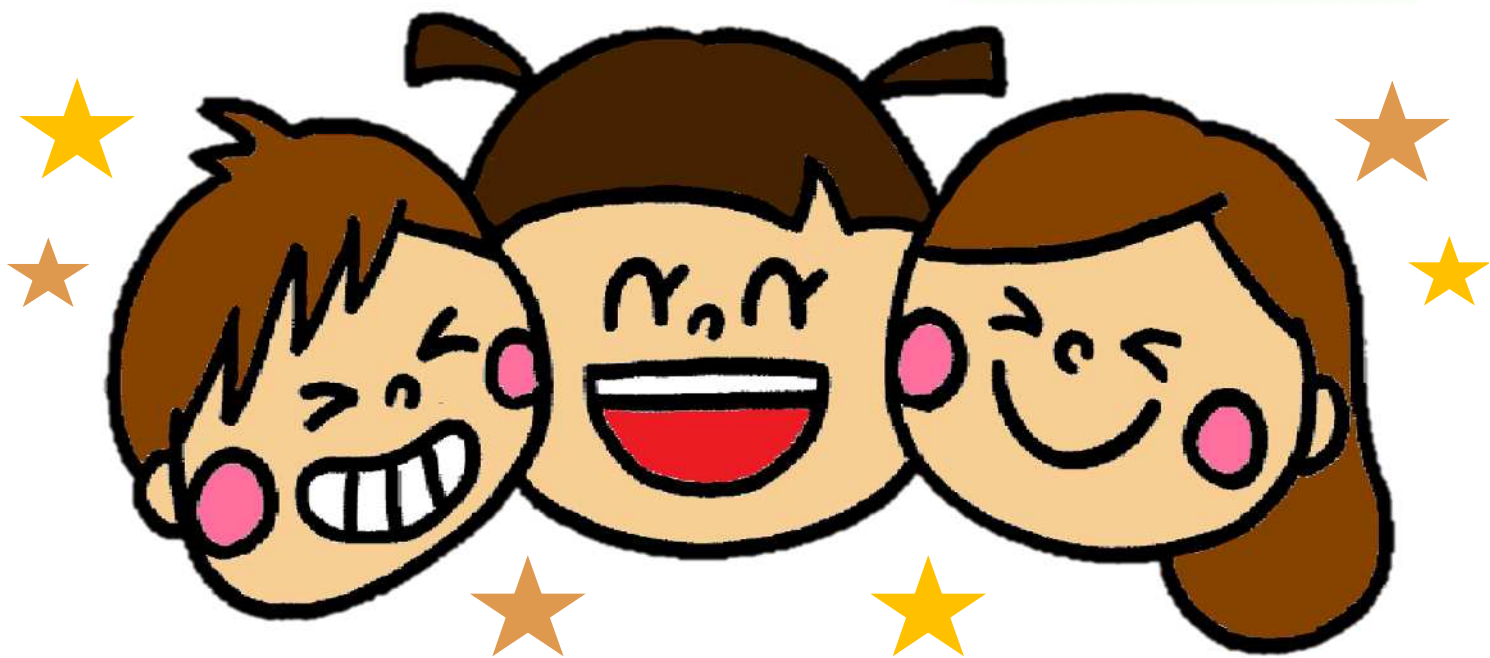
あっぷっぷ

対象:2 歳児

親子で遊びながら「口の機能を育む」ことについて、一緒に考えてみませんか？
口を使った遊びの紹介や体験、歯みがきのポイントもお話します。

口を使って遊ぼう！

口の機能を育む
ってなに？



教室の詳細はちらしを
チェック！

歯みがきのポイント紹介

問合せ先

口腔保健医療センター

中央健康づくりセンター（南）

引佐健康センター

453-6129

425-1590

542-0857

中央健康づくりセンター（東）

中央健康づくりセンター（西）

424-0125

597-1174



松 市

GOGOデンタル通信

ずっと「美味しい」を感じられるお口でいたいと思いませんか？

1 笑顔につながる 未来を守る 歯科健診



20歳以上のあなた！ 受けられます！

『浜松市歯周病検診』

20歳以上の浜松市民ならば 誰でも年に1回 受けられます。

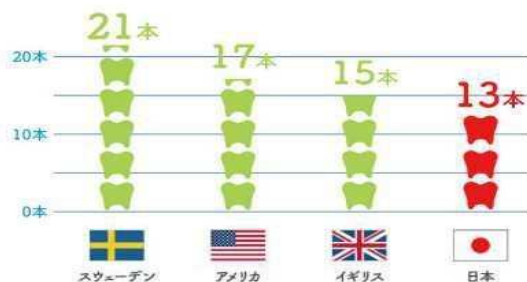
詳しくは 浜松市のホームページをご覧ください。



← 歯周病検診受診券申込

浜松市外の方はお住まいの市町村にお問い合わせください

2 失ってから後悔するのは きっと「歯」！



80歳になったとき 何本残っている？

国によってかなりの差があります。
どうしてこんなに差が出るの？

その答えは ↓↓↓ 下段の情報を

厚生労働省平成28年度歯科疾患実態調査、Swedish dental journal vol.39 2015

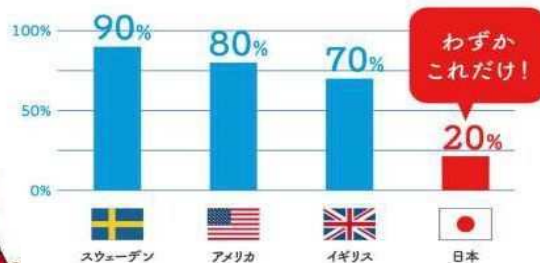
3 「定期検診」が将来残る歯の数のカギに！

メインテナンス
驚き！メインテナンスの受診率の差！



長持ちさせるためには、手入れを怠らないこと。
車と一緒にゃな。でも歯は交換できんからのう。

ツルツルになってピカピカになって
すっきりするし汚れが付きにくくなるんですって！
気持ちいい♡



わずかこれだけ！

The Quintessence Vol36 No.2/2017-0389

発行元

浜松市健康増進課(歯の健康センター) 053-453-6129

お口の状態は個人で異なります。かかりつけの歯科医院で定期的に検診を受け、心配なことがあればその都度、歯科医師・歯科衛生士に相談しましょう。

浜松市民のみなさまへ

歯周病検診が 受けられることを ご存知ですか？



検診を受けたらお得な/
キャンペーン実施中!

杏林堂ポイントカード
会員様限定!

検診を受けて、フォームに必要事項を入力するだけ!

杏林堂
ポイント

300pt プレゼント!!

ポイント取得条件

「令和6年度 歯周病検診」を
受診された方
(浜松市内に住所を有する20歳以上の方)

浜松市の
歯周病検診
受診券
(ハガキ)



ポイント取得方法

こちらのQRコードを読み込み、フォームに下記必要事項をご入力ください。
後日、ポイントを付与いたします。



必要事項

- ・お客様の会員番号
- ・受診された歯科医療機関名
- ・アンケート



対象期間

2024.6.1(土) ▶▶▶ 7.31(水)

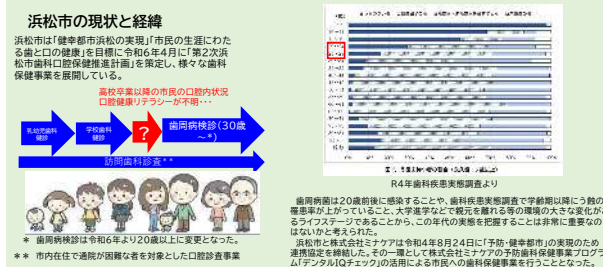
演題番号 大学生・専門学校生を対象にデンタルIQ チェックを用いて実施した意識調査について

顔写真

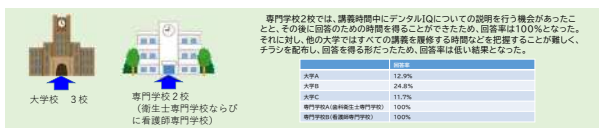
○伊藤 梓¹⁾, 川瀬 真由¹⁾, 戸谷 由里¹⁾, 坂下 美佳²⁾, 松本 幸子³⁾

- 1, 浜松市健康増進課 口腔保健医療センター
- 2, 浜松市浜名健康づくりセンター
- 3, 浜松市天竜健康づくりセンター

【目的】浜松市では、乳幼児歯科健診、学校歯科健診、30歳以上に歯周病検診を実施し、市民の歯の健康維持の意識向上へとつなげている。しかし、高等学校卒業後を対象とする歯科健診はなく、その年代の口腔健康状態や口腔の健康リテラシーを把握する機会がなかった。歯周病菌への感染は20歳前後に感染することなど、高等学校卒業後は歯科的な観点から重要な年代であると言える。今回、(株)ミナケアの協力を得て、大学・専門学校生を対象としてデンタルIQチェックを用い、その年代の調査を行ったので報告する。



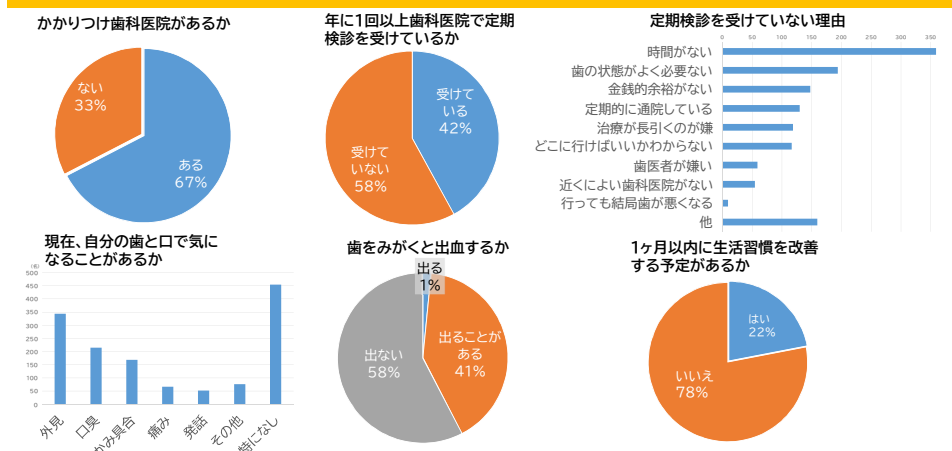
【対象】浜松市内で協力を得ることができた3件(4574名)の大学校、2件(330名)の専門学校の在校生の内、回答の得られた1083名(回答率22.1% 男性254名 女性829名)



【方法】実施期間：2023年4月5日～2023年6月14日(70日間)
実施方法：(株)ミナケアが提供する専用ウェブサイトを使用し、スマートフォンで回答する方式で、歯と口に関するアンケートを実施した。対象の学校にQRコードを配布し、回答を依頼。回収したものを分析した。

【結果】デンタルIQチェックは(株)ミナケアが開発したツールで、36問のWeb問診を行うことで、利用者の歯科的なリスクを分析するものである。

今回のデンタルIQチェックに協力を得られた者の内、5.2%が高リスク、37.4%が中リスク、52.4%が低リスク、5%がリスクなしとなった。デンタルIQでは、リスクの状況を①歯と体の健康、②歯科医院の選び方・かかり方、③丈夫な歯の作り方、④口内環境、⑤歯のおそうじ、⑥間食の摂り方に分類していて、特にリスク者割合が高かったのは⑤歯のおそうじ、⑥間食の摂り方だった。



【考察】令和4年度に実施した浜松市の市民アンケート¹⁾では「かかりつけ歯科医で定期管理を受けている」者の割合は30.2%で今回の調査はいずれも高かった。そのことから中高年より歯科に対しての意識が高い可能性があることが考えられた。回答者が大学・専門学校生という特性から、口腔内に気になることも特にないという回答が多かったが、それ以外に多かったのは「外見」「口臭」という対人面の要素が強いものであった。この年齢層へのアプローチとして重要な要素になってくるのが考えられる。他には口腔清掃に対する意識や間食の摂り方などに課題が多いという結果であったが、生活習慣の改善などは実践しようと思っていない者が多かった。

【結論】歯周病や初期むし歯は自覚症状に乏しく、定期的な歯科健診を受けることが推奨される。今後この年代に対し、定期的な歯科健診の重要性の啓発を行うことが重要と考えられた。今後の啓発のために地域歯科医師会、他団体との連携を図っていくことも重要と考える。

【参考文献】浜松市、健康はままつ21, 84, 2024.

【謝辞】本発表にあたり、(株)ミナケアの皆様、ご協力頂いた学校、-18-様に深謝いたします。

口腔衛生学会 COI開示
発表者名：伊藤 梓
演題発表に際し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません。

企業を対象とした歯周病検診の 受診啓発活動およびアンケート調査について

〇川瀬 真由¹⁾、伊藤 梓¹⁾、戸谷 由里¹⁾、坂下 美佳²⁾、松本 幸子³⁾

1、浜松市健康増進課 口腔保健医療センター

2、浜松市浜名健康づくりセンター

3、浜松市天竜健康づくりセンター

顔写真

【目的】 歯と口の健康は、心身の健康の保持増進や生活の質の向上に重要な役割を果たしている。浜松市では、市民の生涯にわたる歯と口の健康づくりに関する施策を推進しており、30歳以上の市民に対し、歯周病歯科検診を実施している。しかしながら、歯周病歯科検診の受診率は低い状態となっている。浜松市では令和2年度に市内の企業を対象に歯周病検診受診啓発を含めた口腔の健康リテラシーに関するアンケート調査を実施した。その後3年間、継続して普及・啓発活動を行い、令和5年度に再度調査を実施して結果を比較したので報告する。



【対象者】
浜松市内に住所を有する30歳以上の市民
(※R6. 4. 1から20歳以上)

【受診券】
・年度末(3月)に一括送付者
次年度末(3月31日)時点で、
30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる者
【自己負担金】節目年齢以外の対象者は随時受付・発送
500円

【方法】 浜松市内健康づくり推進団体及び浜松ウエルネス推進協議会参加団体を訪問し、歯周病検診に関するポスター掲示やチラシ配布を行い、希望者には受診券を発券した。さらに、歯周病検診の認知度と口腔の健康リテラシーを知るためのアンケート調査を行った。そのうち、令和2年度から令和5年度まで継続して協力の得られた142件の企業から3490人のアンケートを回収し、分析を行った。

企業での歯周病検診受診啓発の様子



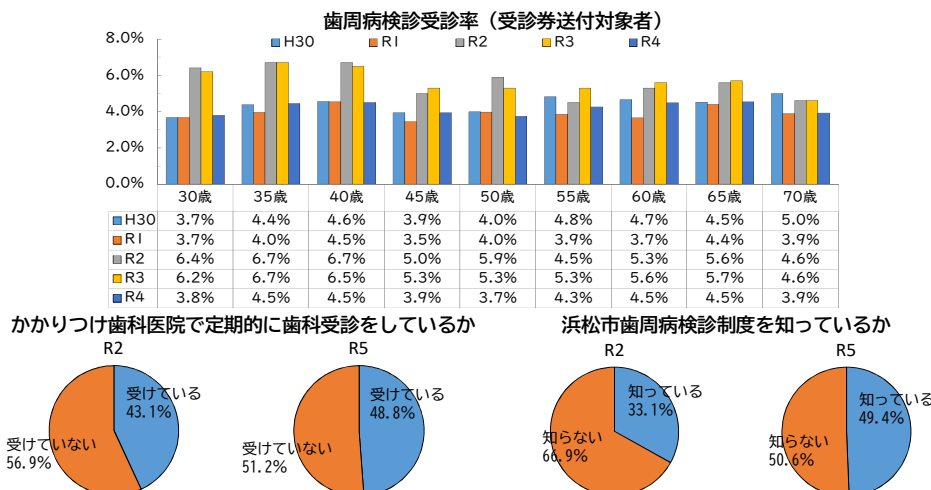
歯周病検診に関する掲示物一覧



アンケート調査項目

- ◎かかりつけ歯科医院はありますか？
- ◎定期的に歯科受診をしていますか？
(検診、メンテナンス、歯みがき指導など)
- ◎浜松市歯周病検診制度(30歳以上対象)を知っていますか？

【結果】 かかりつけ歯科医院で定期的に検診を受けている人の割合は令和2年度に43.1%であったが、令和5年度では48.8%と増加した。市の歯周病検診の制度を知っている割合は令和2年度に33.1%であったが、令和5年度では49.4%と増加した。一方で、歯周病検診の受診率は平成30年度と令和元年度は約4%であったが、令和2年度と令和3年度は約6%に増加した。しかしながら令和4年度は再び約4%に減少した。



【考察】 各企業に対し啓発を開始してから、かかりつけ歯科医院で定期受診をしている者と歯周病検診を認知している者の割合は増加した。そのことから企業に対しての啓発は有効だったものと思われる。しかしながら、歯周病検診の受診率は全ての年代で令和2年度、3年度で上昇し4年度は減少した。歯周病検診受診率の増減の理由は不明だが、令和2年度、3年度はコロナ禍の時期となり、その社会的背景が要因となった可能性がある。また令和5年度は約半数がかかりつけ歯科医院を持ち定期受診をしていた。その定期受診をしている層に関しては必ずしも歯周病検診を勧奨する必要はなく定期受診を続けることで口腔の健康管理が続けられると考える。今後、市として重要なことは、かかりつけ歯科医を持たず定期受診をしていない役半数の層に対し、口腔健康管理の重要性を啓発していくことと考えられた。

【結論】 歯周病は20歳前半に感染することが多く、自覚症状が乏しい疾患であることから、若年代から定期的な歯科受診が推奨される。今後も引き続き、浜松市歯周病検診制度の利用を普及・啓発するとともに、発券方法の検討及びより多くの市民にかかりつけ歯科医院での定期的な歯科受診を推奨していく必要がある。

令和6年度 健康長寿を目指して～口の健康づくり訪問～（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施）

口腔機能低下がうかがわれる後期高齢者に適切な歯科保健指導を行い、口腔機能の維持向上を図ることを目的に、後期高齢者医療広域連合の実施する高齢者健康診査の質問票から69～79歳の口の機能低下が疑われ、かつ、前年度に歯科を受診した記録がない者を対象に歯と口の健康状態を把握するためのアンケートを送付し、訪問希望者には歯科保健指導と口腔機能の維持向上のための定期的な歯科受診啓発を訪問し直接実施した。

健診抽出者 年齢別分類

年齢区分	R6年度
67～79歳	175人
80～89歳	333人
90歳以上	106人
健診抽出者数	614人

対象者 性別分類

性別	R6年度
男性	82人
女性	93人
対象者数	175人

対象者の反応分類

項目	R6年度
訪問希望	8人
電話希望	8人
アンケート返信のみ	27人
未回答	137人
関り希望者実数	11人

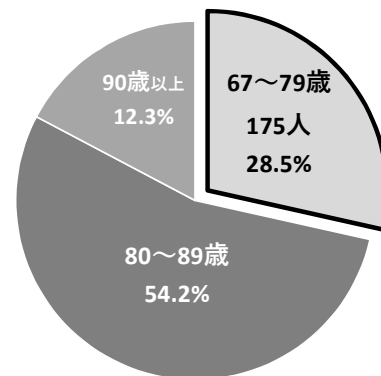
啓発実績

項目	R6年度
訪問啓発	7人
電話啓発	6人
資料送付のみ	25人

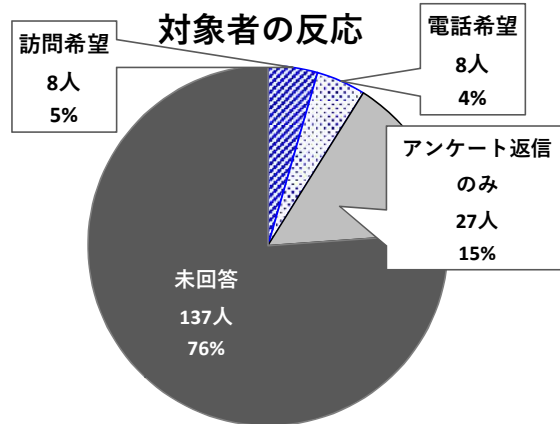
回答者のアンケート結果

アンケート結果	R6年度
問題なし	8人
やや注意	9人
要注意	22人
回答者数	39人

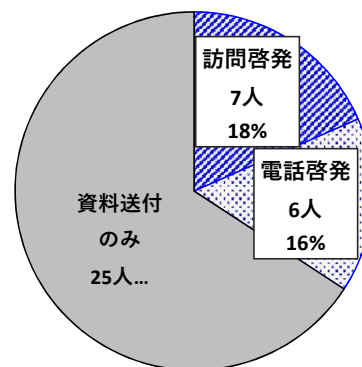
抽出者 年齢ごとの人数・割合



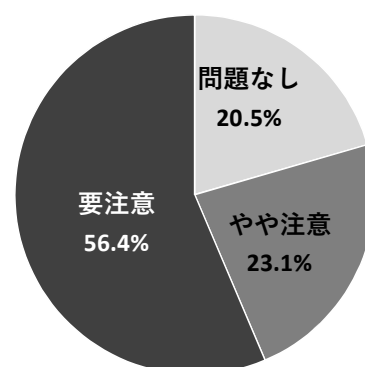
対象者の反応



啓発実績

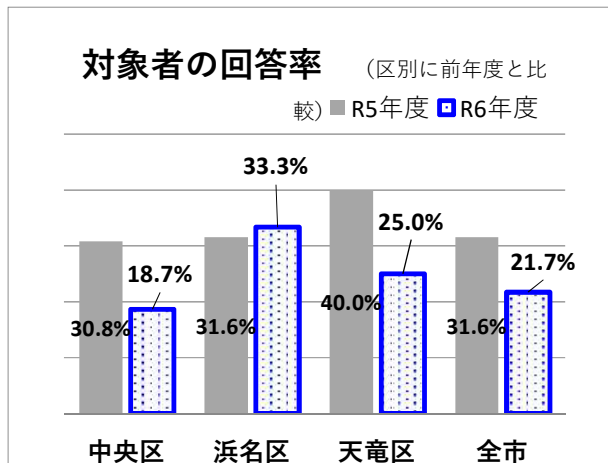


オーラルフレイル判定結果（回答者）



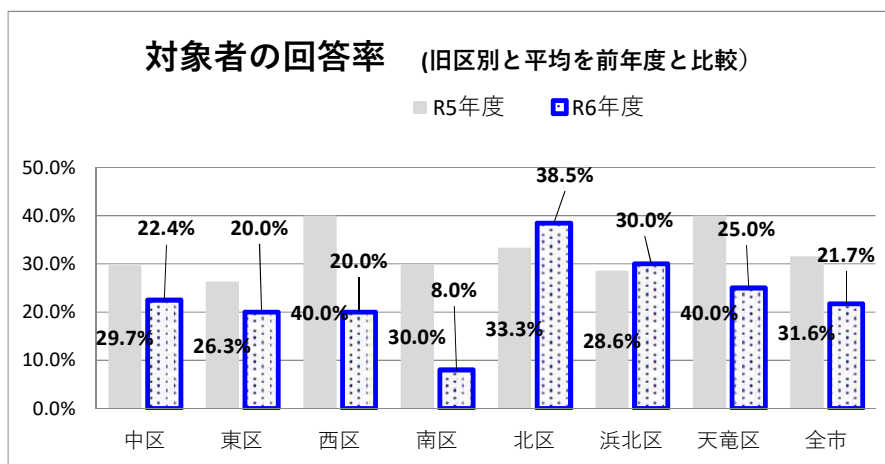
対象者の回答人数と回答率（旧区別と全市）

R5年度				R6年度		
旧区	対象数	回答数	回答率	対象数2	回答数2	回答率4
中央区	172人	53人	30.8%	134人	25人	18.7%
浜名区	38人	12人	31.6%	33人	11人	33.3%
天竜区	15人	6人	40.0%	8人	2人	25.0%
全市	225人	71人	31.6%	175人	38人	21.7%

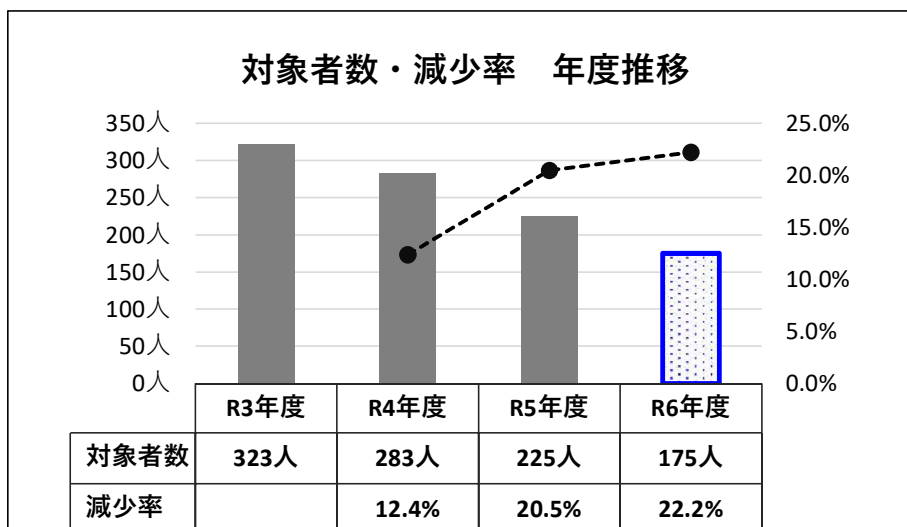


対象者の回答人数と回答率（旧区別と全市）

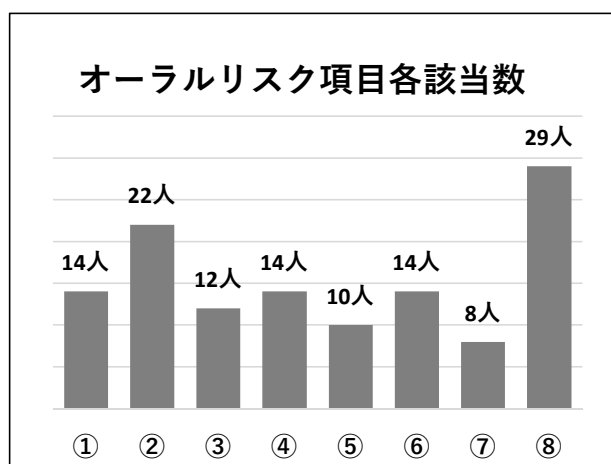
R5年度				R6年度		
旧区	対象数	回答数	回答率	対象数2	回答数2	回答率4
中区	64人	19人	29.7%	49人	11人	22.4%
東区	38人	10人	26.3%	30人	6人	20.0%
西区	30人	12人	40.0%	30人	6人	20.0%
南区	40人	12人	30.0%	25人	2人	8.0%
北区	24人	8人	33.3%	13人	5人	38.5%
浜北区	14人	4人	28.6%	20人	6人	30.0%
天竜区	15人	6人	40.0%	8人	2人	25.0%
全市	225人	71人	31.6%	175人	38人	21.7%



年度推移	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象者数	323人	283人	225人	175人
減少率		12.4%	20.5%	22.2%



番号	該当数
①	14人
②	22人
③	12人
④	14人
⑤	10人
⑥	14人
⑦	8人
⑧	29人



- ①半年前に比べて、かたいものが食べにくくなりましたか？
- ②お茶や汁物等で、むせることがありますか？
- ③歯が少なくなったのに、そのまま放置していますか？
- ④口の渇きが気になりますか？
- ⑤半年前に比べて、外出が少なくなりましたか？
- ⑥さきイカ・たくあん・りんごくらいのかたさの食べ物を嚙(か)むことができますか？
- ⑦丁寧に時間をとって歯や入れ歯をきれいにしていますか？
- ⑧定期的に歯科医院で口のチェックをしていますか？

4 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(1) 歯と口の機能に着目した取組

担当課	取組	ライフステージ	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	妊婦の歯科健診	妊娠期	・妊婦の歯科健診、歯科保健指導を実施する。	・妊娠届出時に受診票を配布し、受診希望者は健診実施医療機関を受診した。	・妊娠届出時の保健指導など、妊婦とのかかわりの中で、引き続き、受診勧奨に努める。
	幼児の歯科健診	乳幼児期	・歯科健康診査を実施し、必要に応じて歯科保健指導を行う。	・1歳6か月児、2歳児は集団健診を実施した。3歳児歯科健診は中央区、浜名区の一部は歯科医院での個別健診、浜名区の一部・天竜区は集団健診を実施した。 ・かかりつけ歯科医院での定期管理の重要性を普及啓発した。	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。
	フッ化物洗口		・幼稚園、保育所、こども園にてフッ化物洗口を実施する。	・半分弱の施設（100施設/232施設）で実施した。 ・4/23、25に園の先生を対象に「フッ化物洗口実施における管理責任者説明会」を実施し、ミラノールの取り扱いや洗口を実施する上での注意事項について説明した。99名が参加した。	・引き続き、幼・保園長等にて事業説明を行い、実施施設数の増加に努める。 ・洗口を安全に実施できるように説明会を毎年実施する。
	母子の健康教育		・フッ化物利用によるう蝕予防を普及啓発する。 ・噛むことの大切さや望ましい食習慣の定着を目指した働きかけを行う。	・各幼児教育・保育施設で健康教育を実施した。園での実施に加え、DVD、紙芝居の貸与などを行った。	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 ・対象となる園の状況に合わせ、様々な実施方法を考える。
幼保運営課	幼稚園・保育所における歯科保健の推進		・歯科検診の実施 ・口を育む教室の開催 ・歯の磨き方や口のすすぎ方及び仕上げ磨きの大切さの指導 ・望ましい食習慣の定着化を図る支援	・歯科検診を通して園児が自分の歯と口への関心が高まるようにした。 ・フッ化物洗口（希望園）や貸出用DVDの活用・教材の工夫、歯科衛生士による健康教育を実施し、歯と口の健康アップにつながった。 ・6月の歯と口の健康週間において「かみかみメニュー」を給食に取り入れたり、保護者に食育だよりを配布したりした。	・歯科検診結果の通知や健康アップの活動を通し、歯と口の健康の大切さを親子で感じられるようにする。 ・毎日の食後の歯磨き、口すすぎの習慣化を図る。 ・保護者の理解が乳幼児期からの生活習慣に大きな影響を及ぼすことから、家庭・園・地域で相互に連携を図りながら口腔保健推進の啓発に努める。

(1) 歯と口の機能に着目した取組

担当課	取組	ライフステージ	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康安全課	学校における食育について	学齢期	・栄養教諭・学校栄養職員等を中心とし、よくかんで食べることを意識した献立を作成する。 ・教職員と連携・協力し、食に関する指導体制の充実を図る。	・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を立案、実施した。 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導した。 ・6月の「歯と口の健康週間」には、カルシウムを多く含んだ食品や、よく噛んで食べる食品を取り入れた献立やカミカミメニューを実施し、指導につなげた。	・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を継続するとともに新献立等を検討する。 ・各学校の食育に関する指導計画に基づき、栄養教諭等が中心となり、よく噛んで食べることの重要性に関する指導の継続及び充実を図る。 ・引き続き「歯と口の健康週間」がある6月には、骨や歯を丈夫にするカルシウムを多く含む食品、あごを強くするために、よく噛んで食べる食品を多く取り入れていく。

(2) 歯周病予防対策

担当課	取組	ライフステージ	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康安全課	学校における歯科保健の推進	学齢期	・定期健康診断で歯科健診を実施する。 ・教育活動において、歯の必要性・大切さを含め、むし歯や歯周病の予防について指導する。 ・歯を清潔に保つため歯みがきを習慣化させ、自分で自分の歯やからだを意識的に守らせるという観点から昼食後の歯みがきの習慣化を目指す。 ・むし歯の多い子どもについては、学校歯科医の助言を受け、健診後、個別の保健指導に努める。	・定期健康診断では、学校歯科医と連携を図り、健康診断の結果をもとに、むし歯や歯周病の予防について指導した。 ・自分で自分の歯やからだを守る意識につなげるため、「歯と口の健康週間」を啓発し、歯みがきの習慣化の定着に努めた。 - さらに学校では、むし歯の多い児童・生徒には保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の保健指導に努めた。 ・学齢期における歯周病に対する歯科保健教育について、歯科医師会からの協力依頼を受け、小学校5校で実施した。 ・浜松市学校保健会学校歯科医部研修会については、令和6年10月27日に教職員を対象として「ココが変だよ！日本の口腔機能発達支援」についての研修会をオンデマンド配信で実施した。	・定期健康診断の結果をもとに、学校歯科医と連携を図り、むし歯や歯周病の予防について指導していく。 ・自分で自分の歯を守る意識を高めるため「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化を図る。 ・むし歯の多い児童・生徒には、保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の指導に努める。 ・引き続き、歯科医師会が取り組んでいく、学齢期における歯周病に対する歯科保健教育に協力する。 ・歯科医師会が実施を検討している、歯科保健に関する保護者アンケートに協力していく。

(2) 歯周病予防対策

担当課	取組	ライフステージ	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	成人期 高齢期	・歯科検診、保健指導を実施する。	・20歳以上の市民に対し歯周病検診を実施した。 ・受診券は、20、25、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送した。 ・企業との取り組みの中で受診券の発行を実施した。	・今後も受診率向上のため、啓発を継続していく。
	健康教育		・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・住民団体や健康保険組合等に健康教育の実施を案内し、希望のある団体の活動の場や事業所で健康教育を実施した。	・引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む。
	歯周病検診等・ 受診啓発		・健康はままつ21推進団体に歯周病検診について普及啓発する。 ・協力の得られた市内の大学・専門学校も歯周病検診についての啓発を実施する。 ・杏林堂・ヘイリオンの啓発事業に協力する。	・取組に興味を示す企業に赴き、歯周病検診の受診券発行の申し込みを受けた。 ・媒体は紙ではなく、PDFなどのデジタルデータを希望する企業が増えている。 ・特定保健指導利用券発行時に喫煙歴のある者に歯周病の理解を深めてもらうため、チラシをならびに歯周病検診受診券を国保年金課と連携し配布した。	・歯周病検診に関する普及啓発に努める。特に、事業所に対して働きかけを強化する。
ウエルネス推進事業本部	官民連携による歯科 保険事業の推進		口腔ケアに関する健康意識の醸成や、歯周病検診の受診率向上に関する取組など、歯と口の健康づくりを官民連携で推進する。	・口腔センターと企業で実施した、歯周病検診受診率向上にむけた取組について、メルマガやアプリのプッシュ通知を使用し、協議参画企業・団体やアプリユーザーにむけて周知した。 ・歯と口の健康づくりに関するイベントのプッシュ通知：4回/年	引き続き、事業の周知を継続するとともに、オーラルフレイル予防の取組を行う。高齢者に限らず、健康経営の観点から職域も含めた包括的なアプローチを官民連携で推進する。
国保年金課	生活習慣病重症化 予防		・生活習慣病対策の一環として、歯科疾患予防を啓発する。	・特定健康診査受診者で医療機関への受診勧奨通知対象者および特定保健指導対象者のうち喫煙者に対し、歯周病に関する啓発ちらしを発送した。 発送件数：1,791件 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおいて対象者への受診勧奨通知に歯周病検診受診券を同封した。 発送件数：485件	生活習慣病対策の一環として、今後も歯周病について啓発していく。

(3) 歯と口の機能低下を予防する対策

担当課	取組	ライフステージ	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	健康教育	成人期 高齢期	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施した。	・引き続き、事業ならびにオーラルフレイルの概念の周知に努める。
	口腔ケアの普及啓発		・介護事業所に対し、口腔ケアの重要性や効果などを普及啓発する。	・通所の介護事業所に対し、訪問して普及啓発を実施した。	・引き続き、事業の周知に努め、介護事業所において口腔ケアの関心を高めていく。
	歯科受診勧奨		・介護予防と保健事業の一体的実施の一環として歯科医療機関への受診勧奨をする。	・求めがあった高齢者等に訪問して歯科相談を実施した。	・より効率的に高齢の市民にとって必要な取り組みを検討する。
	歯科訪問診査		・居宅等で療養し通院しての歯科診療が困難と目される者に対し、求めに応じて訪問して歯科健康診査を行う。	・市民の訪問希望を浜松市が受付、歯科医師会に歯科訪問診査を依頼した。	・事業の周知に努める。
高齢者福祉課	市民公開講座	成人期 高齢期	歯科、口腔ケア等に関する内容の市民向け講演会等を実施する。	市民公開講座 ・令和6年5月19日「おいしく食べ続けるために～知っておきたい口の役割～」 会場：104名参加 ・令和6年10月20日「ご存知ですか？オーラルフレイル予防で健口生活」 会場：131名参加	・周知方法を広報はままつ掲載やチラシの配架に加え、10月開催分は、新たにSNSを活用し「はままつ健康アプリ」「浜松市公式LINE」への掲載を行った。 ・令和7年度以降も周知方法としてSNSを活用していく予定。
	口腔機能向上普及啓発事業		在宅の虚弱な高齢者を対象に、口の機能向上及び口腔ケアについての正しい知識や技術を普及・啓発することで、介護予防を推進する。	・市内22か所の元気はつらつ教室の内指定した3教室(13グループ)の参加者を対象に、歯科衛生士によるオーラルフレイル予防に向けた講話を実施。後期高齢者質問票を活用し、1グループにつき2回の講座を開催した。(実施回数：26回※13グループ×2回受講延人数：422人※1回目207人、2回目215人) ・市内のシニアクラブ等の自主活動団体のうち指定した2団体の参加者を対象に、歯科衛生士によるオーラルフレイル予防に向けた講座を実施。後期高齢者質問票を活用し、1団体につき2回の講座を開催した。(実施回数：4回※2団体×2回。受講延人数：129人※1回目71人、2回目58人)	・元気はつらつ教室の平均年齢が87歳と高齢化している。オーラルフレイルを効果的に普及していくために、令和7年度は事業対象者を比較的若い年代が集まる、地域のシニアクラブやサロン等に変更し、介護予防の推進に努める。
	地域包括ケアシステム推進連絡会		すべての人が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、歯科医師を含めた医療・介護・福祉の関係機関が連携し地域包括ケアシステム構築を推進する。	地域包括ケアシステム推進連絡会 合計34回 ・本会2回 ・連携部会3回、ワーキング4回 ・研修・情報共有部会3回、ワーキング1回、研修1回 ・市民啓発部会3回 ・ACP部会4回 冊子担当7回、研修担当4回、研修2回	・地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、多職種連携における課題抽出、市民へ在宅医療・介護推進についての普及啓発を行う。 ・R7年度は、連絡会の体制の見直しを行い、各部会が連携して検討出来るよう努めていく。

(4) 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

障がい者の歯科

担当課	取組	対象	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	障がい者歯科保健医療システムの充実	歯科医療関係者	・かかりつけ歯科での定期管理が行える体制の構築を目標として、歯科診療所、浜松医療センター、口腔保健医療センターとの意見調整を行う。	・令和6年6月27日、令和7年1月30日の計2回浜松市障がい者歯科連絡調整会議を歯科医師会、浜松医療センター、聖隷浜松病院の委員と実施し、意見調整を行った。 ・浜松市内の歯科医療従事者を対象に実地研修を実施した。	・障がい者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。
	かかりつけ歯科での定期管理の重要性について普及啓発	障害福祉サービス事業所の利用者	・かかりつけ歯科での定期管理を習慣化するための普及啓発を行う。	・普及啓発の手段として市内の通所施設を訪問して歯科健診を実施した。	・かかりつけ歯科での定期管理の定着を目指し、歯周病検診のPRも併せて行う。
	歯科医療従事者の資質向上	歯科医療関係者	・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修及び講義を行う。	・年間12回開催 延べ113名が参加した。	・地域での障がい者歯科医療の充実を図る。
障害保健福祉課	歯科保健医療の普及啓発 障害者差別解消法の歯科医療関係者への理解の促進	障がいのある人、その家族 歯科医療関係者	・福祉事業所社会福祉課障害担当グループに「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシ等をおき、歯科保健医療提供体制を周知する。 ・歯科医療関係者に対し、障害者差別解消法の理念及び内容の理解促進を図る。	・「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシを障害保健福祉課、各福祉事業所社会福祉課窓口に配架した。 ・障害福祉サービス事業所等へ「かかりつけ歯科医院を持ちましょう」を送付し周知した。	・障害者差別解消法の規定にある障がい者に対する合理的配慮の提供について、周知に取り組む。 ・歯と口の健康フェスタ等において障害者差別解消法パンフレットによる説明、周知 ・障がい者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続きの周知に取り組む。 ・各社会福祉課窓口での「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」の配架 ・障害福祉サービス事業所等への「かかりつけ歯科医院を持ちましょう」の送付
病院管理課： 浜松医療センター	障がい者歯科診療	一般の歯科診療所で歯科治療が困難な障がいのある人	・「障がい者歯科協力歯科医院」と連携して歯科診療を行う。 ・全身麻酔による集中歯科診療を行う。	・浜松医療センター歯科口腔外科において、週1日、特殊歯科外来を実施 ・全身麻酔による歯科治療を実施	引き続き、「浜松市口腔保健医療センター」及び「障がい者歯科協力歯科医院（浜松市歯科医師会）」と連携を図りながら、歯科診療を行っていく。

(4) 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

災害時の歯科口腔保健医療

担当課	取組	対象	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
健康医療課 健康増進課	浜松市医療救護対策委員会における災害時歯科医療の検討	医療関係者 ほか	災害時における医療救護対策(緊急歯科医療)、健康支援対策(口腔ケア)などについて医療救護対策委員会を開催し、調査研究を行う。 災害時を想定した情報伝達訓練を行う。	(医療救護対策委員会開催日) ・第1回：令和6年8月8日 ・第2回：令和7年3月14日 (情報伝達訓練実施日) ・第1回：令和6年8月21日 ・第2回：令和6年11月2日	(医療救護対策委員会開催日) ・第1回：令和7年7月4日 ・第2回：令和7年11月下旬(予定) ・第3回：令和8年3月上旬(予定) (情報伝達訓練実施日) ・第1回：令和7年8月(予定) ・第2回：令和7年10月(予定)
健康増進課	災害時歯科衛生士ボランティアの募集及び研修会の開催	歯科衛生士	災害時、避難所等で活動いただける歯科衛生士ボランティアを募集する。	・ボランティア登録済歯科衛生士に継続意向確認し、17名が継続。	・新規募集を行う。研修会の開催を検討する。

(3) その他

担当課	取組	対象	内容	R6年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R7年度以降の取組や今後の方向性等)
保健総務課	医療相談	市民	医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の相談に対して、中立的な立場で対応する。	・相談件数：1,209件(うち、歯科に関する相談：63件) ・医療安全推進連携会議 開催 令和6年6月20日	引き続き、医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の相談に対応していく。
子育て支援課	要保護児童対策地域協議会	児童虐待防止に関わる 関係団体	児童虐待防止に向け、実務の円滑な運営体制整備を目的に、庁内外の関係機関の代表者による情報交換等を実施する。	・要保護児童対策地域協議会 代表者会議開催 第1回 令和6年9月3日 第2回 令和7年3月4日 関係機関代表者として歯科医師会から委員出席	・引き続き、児童虐待防止に向け、歯科診療における虐待早期発見、通告先の情報共有等を行う。
健康増進課 (健康推進G)	歯科口腔保健推進 条例と計画の周知 歯と口の健康づくりに関する啓発	一般市民	生活習慣病予防、歯と口の健康づくりに関する啓発を実施する。	・健康教育やイベント等にて「健康はままつ21後期計画」を周知し、計画に基づく取組を推進した。 ・新たな「健康はままつ21(第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画)」の策定に伴い、パブリック・コメントを実施(11/15～12/14)し、令和6年3月に策定した。	令和6年3月に策定した「健康はままつ21(第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画)」について広く周知を図るとともに、計画に基づく取組を推進していく。

5 歯科保健の推進に関する委員のご意見

	石田委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	高橋委員 (浜松市浜松手をつなぐ育成会)	今泉委員 (全国健康保険協会)	吉川委員 (浜松民間保育園長会)
令和6年度 取組実績	・R6年6月に行われた浜松市介護支援専門員連絡協議会の総会(WEB開催)にて、浜松市歯科医師会・鈴木隆之先生より「歯科訪問診査」、「歯科訪問診療」、「ケアマネから歯科医師へのFAX相談票」についてご説明いただき、参加者にパンフレットやFAX相談票をデータ配布し周知を行った。	・前年度から引き続き広報紙に歯科のコラムを掲載。 今年度は1回のみの掲載となっており、ご協力いただいた歯科医師会の先生方には大変申し訳なく思っています。 掲載は「手をつなぐ浜松」Vol.95、令和7年3月7日発行済。内容は『生涯を通じて美味しく食べる③』 ・例年通り、新規入会の会員向け「しずおかサポートファイル」の配布説明会の際に、定期的な歯科受診を勧めた。特に幼児期会員には、かかりつけ歯科医を持つよう働きかけた。受診についての心配事や初診前の相談などは、口腔センターに相談できることを紹介した。 ・幼児通園施設で、歯科受診の状況やかかりつけ歯科医があるか聞いてみたところ、すでに受診している人やかかりつけ歯科医がある保護者が多かった。まだ、受診したことがない保護者は自分の子どもが受診できるか不安を抱えていた。浜松市のHPや歯科医師会のHPから障がい歯科協力医を中から探してみるようすすめた。子どもの障がいによる行動など心配な事がある場合は、まずは親が受診してみるよう助言した。 ・成人期の保護者向けに、歯周病予防についての歯科講座実施を働きかけたが、実施できなかった。	被扶養者の特定健診受診率向上の取り組みとして、静岡市、静岡医師会健診センターMEDIOと連携し、「サンデーレディース健診」を実施。 静岡医師会健診センターMEDIOで全国健康保険会の特定健診、静岡市のがん検診を同時に受診できるほか、静岡市の歯科検診も同会場を受診でき、毎年好評です。	・園長会を通して、令和6年度歯科保健事業の計画(歯周病健診の対象の拡大等について)や歯科保健推進会議の内容を伝達し共有した。 ・保護者への啓発パンフの配布。 ・浜松市歯科調査及び5歳児歯科調査への協力。 ・園児への2・3歳児歯科検診受診を奨励した。 ・園での歯科検診をお休みした場合は、自分のかかりつけ医ではなく、園医を受診してもらえるように伝達した。 ・保育者向けの歯科健康教育研修会の受講と研修を活かした園児への歯科検診教育の推進につなげた。

	石田委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	高橋委員 (浜松市浜松手をつなぐ育成会)	今泉委員 (全国健康保険協会)	吉川委員 (浜松民間保育園長会)
令和7年度の取組予定	・口腔内のことへの意識・理解が高まるよう、引き続きケアマネ向けの勉強会・研修会の機会をお願いしたい。 ・周知は繰り返し継続的にしていくこと重要であるので、R7年度も市や歯科医師会よりオーラルフレイルの啓発や、訪問歯科診査・訪問歯科診療、歯科医師への相談・連携など、ケアマネや介護サービス事業所向けに説明いただく機会をお願いしたい。 ・浜松市介護支援専門員連絡協議会、浜松市介護サービス事業所連絡協議会の事務局（いずれも介護保険課）を通じ、パンフレット等を全ケアマネ事業所・介護サービス事業所向けに同報メールでお知らせ発信をしたり、集合型の研修の際に直接配布等の継続をお願いしたい。	・前年度から引き続き広報紙に歯科のコラムを掲載させていただく予定。 ・例年通り、新規入会の会員向け「しずおかサポートファイル」の配布説明会の際に、定期的な歯科受診を勧めていく。特に幼児期会員には、かかりつけ歯科医を持つよう働きかける。受診についての心配事や初診前の相談などは、口腔センターに相談できることを紹介する。 ・成人期の保護者向けに、歯周病予防を重視した歯科講座を開催できるよう検討していきたい。	・本年度も静岡市で「サンデーレディース健診」を実施予定です。 ・学齢期の子どもを対象とした健康教育の取り組みをしています。生活習慣や食事のとり方等の授業を通じてヘルスリテラシーの向上を目的としています。歯の専門家は協会にはいませんので、行政と一緒に進められる事業等があれば協力したいと考えています。	◎ 歯科保健推進会議の内容を園長会を通して伝達・共有する。 ・歯科保健行動の実践報告をおこない、フッ化物洗口など市の取り組みについて理解してもらえるように説明する。 ・保護者に啓発パンフの配布 ・2．3歳児歯科検診の奨励 ・浜松市歯科調査及び5歳児歯科調査への協力